

経営比較分析表（令和3年度決算）

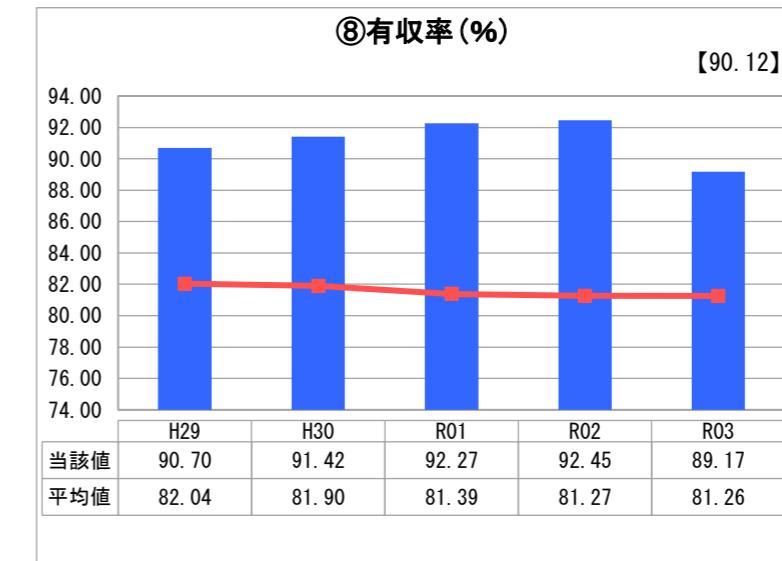
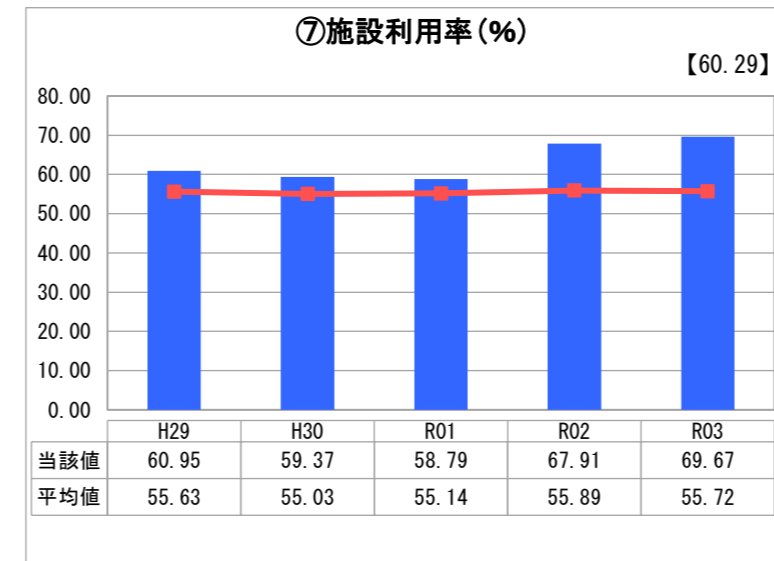
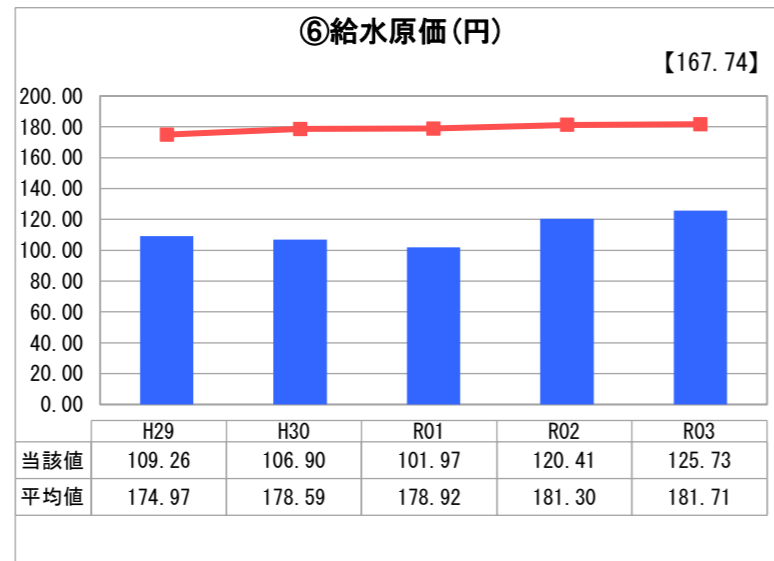
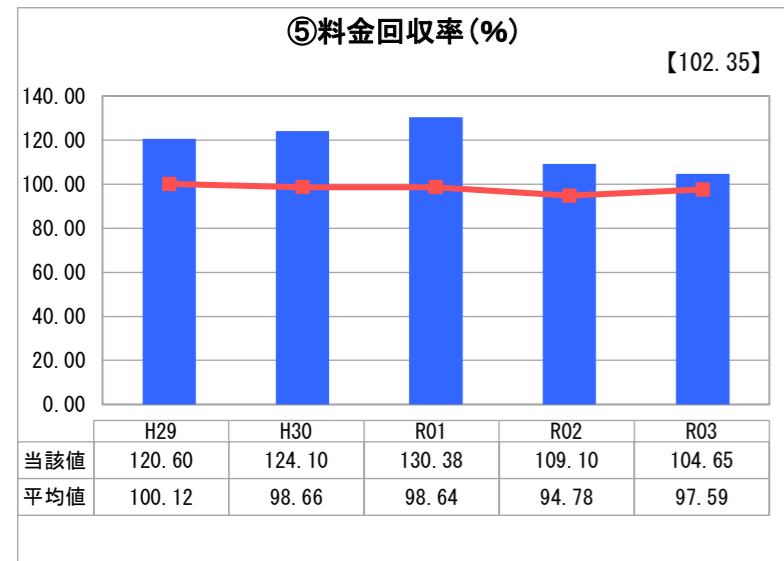
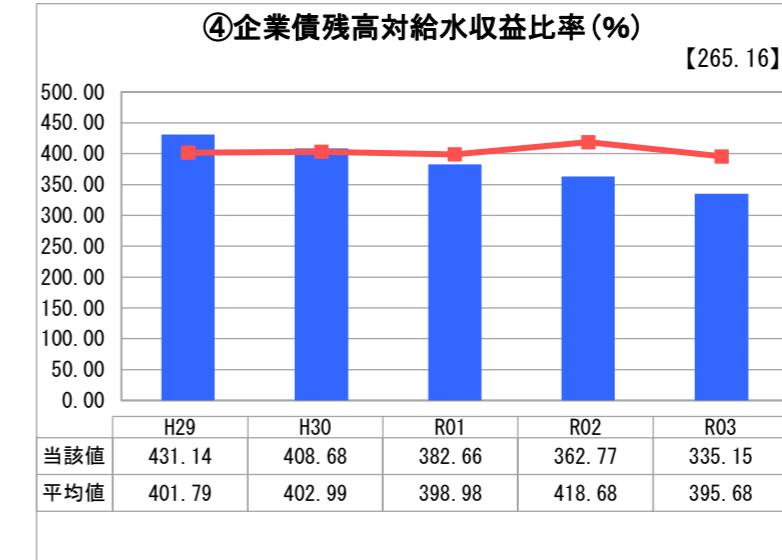
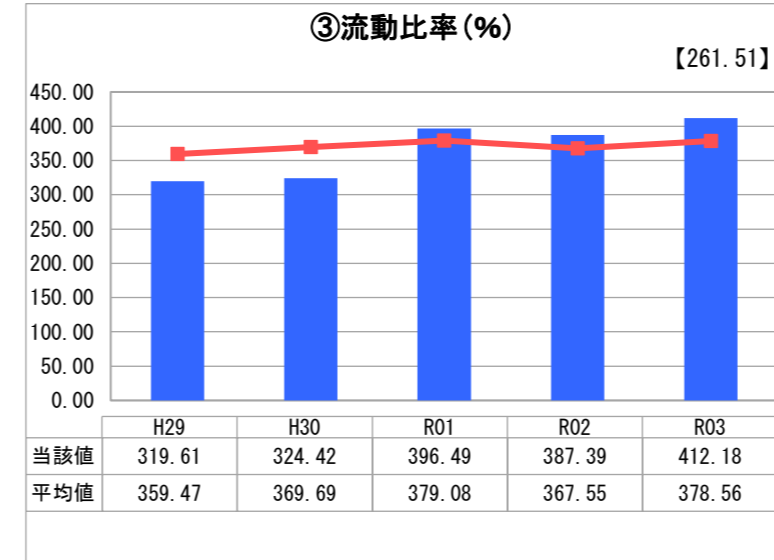
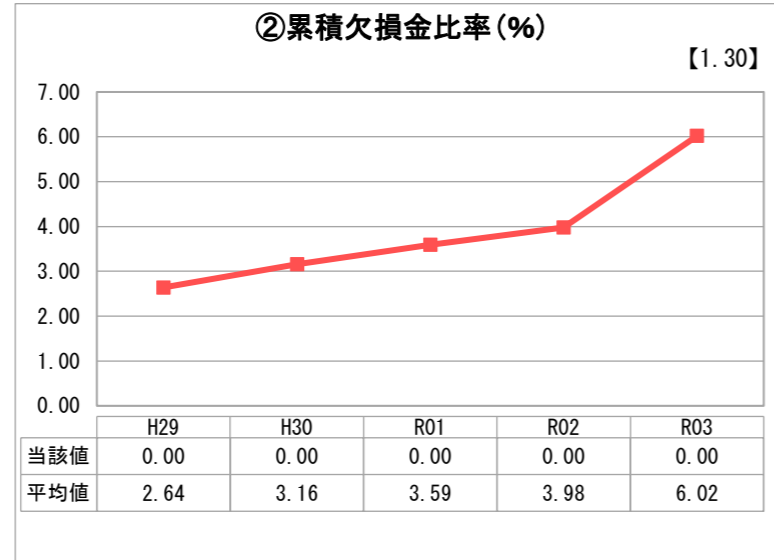
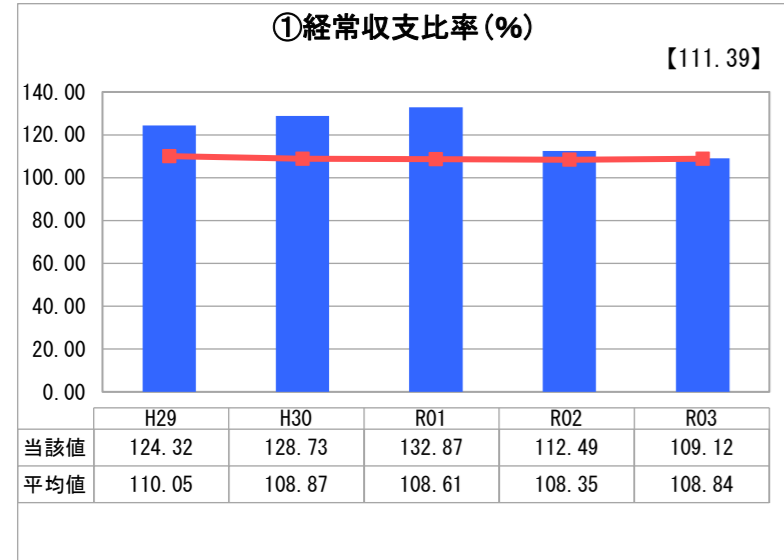
福井県 小浜市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A6	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	83.37	97.57	1,452	

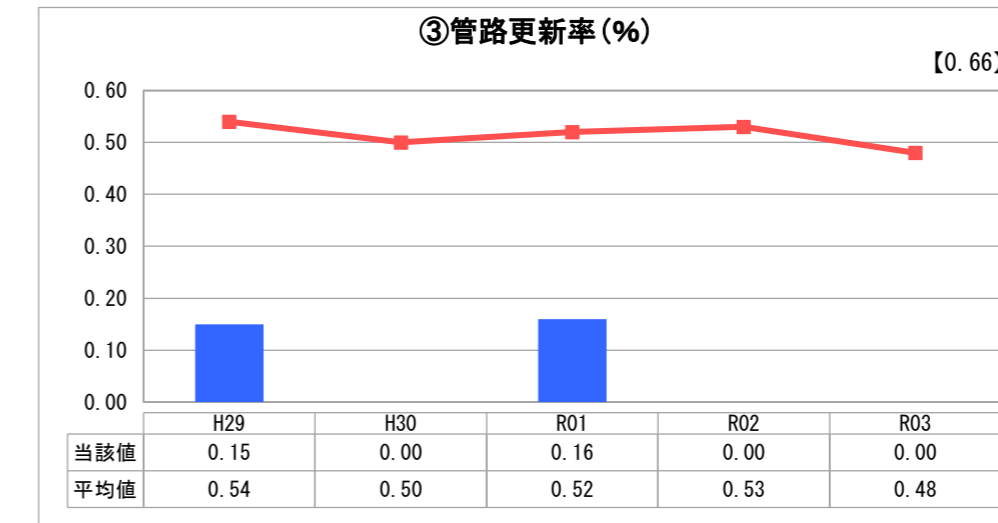
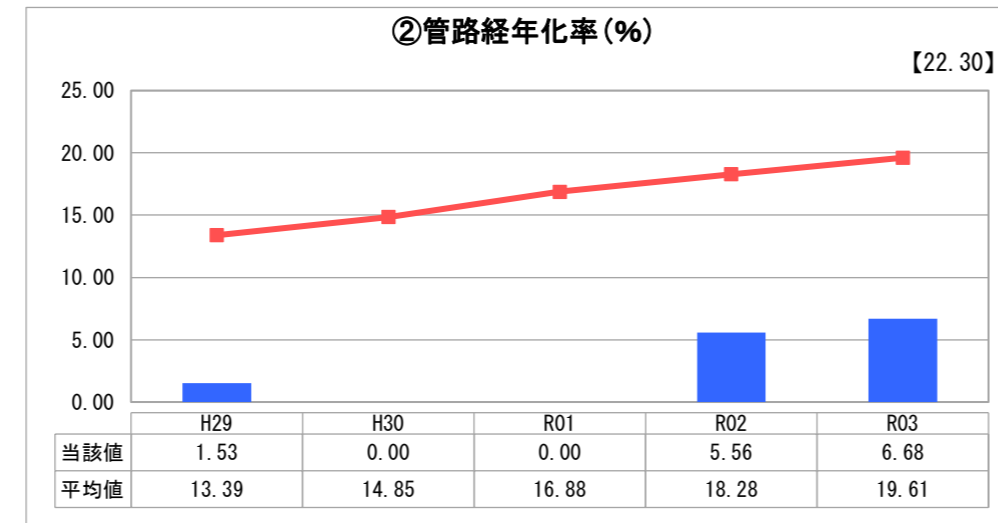
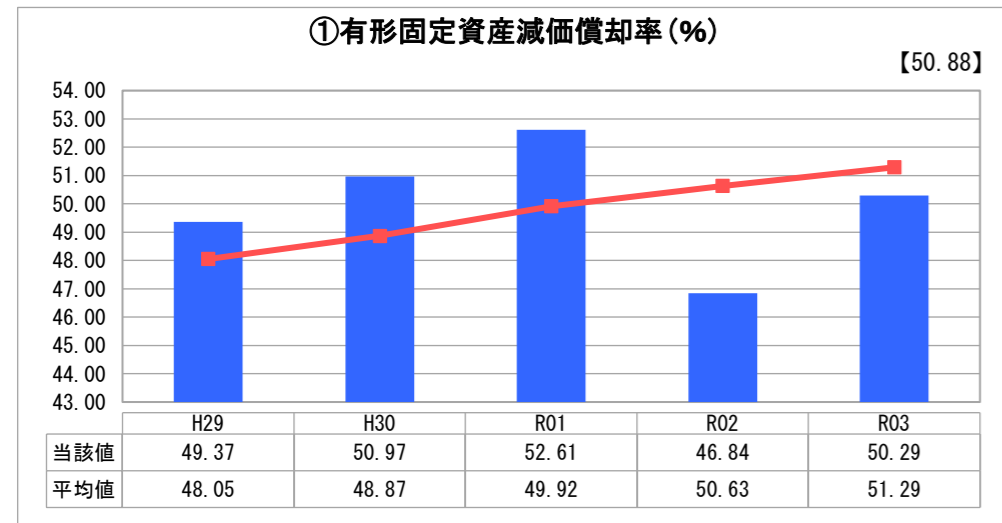
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
28,622	233.11	122.78
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
27,737	21.67	1,279.97

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
[]	令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率：類似団体の平均値を上回っているが、人口減少による収入の減少や料金回収率の低迷により水準が低くなっている。今後は物価高騰の影響を受け、さらなる低迷が予想されるため、経営状況をしっかりと分析しながら健全経営に努める。

② 累積欠損金比率：累積欠損金が発生しておらず、健全な状態である。

③ 流動比率：類似団体の平均を大きく上回る水準であり、今後も経営状況を分析しながら健全経営に努める。

④ 企業債残高対給水収益比率：年々減少傾向にある。将来にわたり施設や管路の更新等において企業債の発行が予想されるが、企業債発行額が企業債償還額を上回らないよう、計画的に投資していく。

⑤ 料金回収率：100%を超えているが、給水収益の減少や将来の施設更新等にかかる費用の増加が予想されることから、適切な料金設定の検討と回収に努める。

⑥ 給水原価：類似団体と比較すると低い傾向にあり、今後も原価の抑制や漏水防止に努める。

⑦ 施設利用率：類似団体より高い状況であるが、人口減少や施設の老朽化が進行する中で、将来的に適正な施設規模を総合的に判断していく。

⑧ 有収率：類似団体と比較しても高い数値であるが、90%以上を目指して今後も施設ごとの有収率等を把握・分析し、水準の維持に努める。

2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率：約50%の水準であるが、年々施設の老朽化が進行しており、今後、給水人口の減少による収益の減少が予想される中、計画的な施設更新による事業運営を行う必要がある。

② 管路経年化率：下水道事業等の工事に伴い水道管の布設替工事を行ったことにより、全体的に新しい管路を有している。

③ 管路更新率：類似団体と比較して低水準であるが、今後R3年度に策定した管路耐震化計画を基に計画的に更新を行う予定である。

全体総括

現状、経営状況については概ね健全であるといえるが、令和2年度と比較して数値が低迷している箇所も見受けられる。また、今後予想される人口減少に伴う給水収益の減少や物価高騰による営業費用等の増加により、経営状況が悪化することが予想される。これに併せて、施設の更新も必要になることから、経営状況をしっかりと分析し、必要に応じて経営戦略の見直しを行うなど、健全経営に努める。